



予防接種の受け方・費用は？

一般的に、麻しん・風しんの予防接種を受けるには、1万円から2万円程度の費用がかかりますが、予防接種法に定められた下記の対象者は、市が接種費用を負担しますので無料で受けることができます。平成22年度の対象者で接種が済んでいない人は、早めに接種をしましょう。

●対象者

MR1期……1歳児

MR2期……平成23年4月に小学校へ入学する人
(平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ)

MR3期……中学校1年生に相当する人
(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ)

MR4期……高校3年生に相当する人
(平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ)

※MR3期・4期は平成20年度から5年間の制度となります。

●接種回数 1回

●接種料金 無料(全額、市負担) ※対象期間を過ぎると、全額自己負担になります。

平成23年3月31日まで
に接種を受けましょう!

合志市委託医療機関 ※事前予約が必要です

大森医院	☎248-0003	成松内科医院	☎345-5151
宮川内科医院	☎248-2155	山下胃腸科クリニック	☎345-0600
みやの小児科	☎248-5800	まつもとこどもクリニック	☎338-8960
いけざわこどもクリニック	☎242-6633	産科婦人科大竹クリニック	☎344-3232

医療機関に予約し、予診票と母子健康手帳を持参のうえ接種してください。

※MR2期・3期・4期の対象者には、平成22年4月に予診票を郵送でお送りしていますが、予診票を紛失した人、転入してまだ接種していない対象の人は、健康づくり推進課までご連絡ください。

●母子健康手帳の交付

保健師が、妊婦さんの体調などを聞きながら母子健康手帳の使い方や妊婦健康診査について説明を行います

と き 平日、午前8時30分～午後5時

ところ 健康づくり推進課(西合志庁舎)

※健康育児相談でも交付しています。日時などは31ページのお知らせカレンダー、健康づくり事業計画表をご覧ください。

持参する物 印かん、医療機関から発行された妊娠届出書

●熊本県小児救急電話相談事業

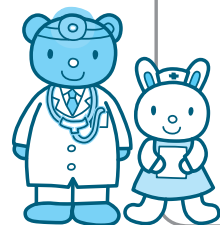
相談時間

毎日・夜間

午後7時から午前0時

☎#8000

(ただし、ダイヤル回線・IP電話・光電話からは☎364-9999)



麻しん・風しんの予防接種を受けましょう

平成24年(2012年)までに麻しん(はしか)をゼロに!

日本での麻しんは、周期的な流行は見られたものの、患者数は減少傾向を示していました。しかし、平成19年に10代および20代を中心に、1万人を超える麻しんの流行が起きました。従来の日本の麻しんワクチンは、1歳時に1回接種するだけで、接種率も低いものでした。そのため、1回予防接種を受けたが免疫が徐々に低下した人、免疫がなかった人の間で流行したと考えられます。

アメリカやカナダ、韓国などでは麻しん対策が進み、「麻しんの患者は国内にはいない」と宣言していますが、日本はいまだ麻しん排除の宣言を行なうに至って

いません。また、世界保健機関(WHO)は、日本を含むアジア西太平洋地域において平成24年までにこの地域から麻しんを排除する目標を定めています。

これらを受け、日本でも平成24年までに麻しん排除とその後の維持を目標にした麻しん排除計画が開始し、平成20年4月から5年間、中学1年生と高校3年生相当年齢の人に対して、麻しん風しん混合(MR)ワクチンの定期接種を行なうこととなりました。



麻しんや風しんってどんな病気?

麻しん

麻しんウイルスの空気感染によって起こり、感染力が大変強い感染症です。ウイルスに感染した後、約10～12日間の無症状の期間(潜伏期)を経て、熱・せき・鼻水などの症状が出始めます。数日すると、首すじ・顔から赤い発しんが出始め、熱も高熱となり、発しんは全身に広がります。38～39℃台の熱は1週間から10日程度続くことがあります。とても感染力が強く、免疫がないと大人もかかります。

麻しんにかかると肺炎や脳炎を引き起こすことがあります。1,000人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。さらに、10年ほどしてから「亜急性硬化

性全脳炎」という重い脳炎が10万人に1人の割合で発生することが知られています。

風しん

風しんウイルスの飛沫^{ひまつ}感染によって起こります。潜伏期間は2～3週間です。軽いかぜ症状で始まり、発しん、発熱、耳の後ろや首のリンパ節の腫れ、目の充血などの症状が見られます。症状は、麻しんより軽く、おおむね3日で発しんや熱が下がるので「三日ばしか」と呼ばれます。しかし、妊婦さんが妊娠初期にかかると、お腹の中の赤ちゃんが感染し、「先天性風しん症候群」と呼ばれる心臓の病気になったり、目や耳に障がいを生じたりすることがあります。

麻しんや風しんの予防は?

麻しん・風しんの予防は、予防接種を受けて免疫をつけることです。現在、麻しんと風しんの両方を予防する麻しん風しん混合(MR)ワクチンがあります。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感

染を広げないためにも予防接種は有効です。予防接種を受けたことがない人はもちろん、1回受けたことがある人も2回目(追加接種)を受けて免疫を強固なものにしましょう。